



# 学 校 便 り 琢 磨

第 4 1 号 R3. 1. 28 三豊市立詫間小学校

新 HP <https://mitoyo.schoolweb.ne.jp/mitoyo/takuma-e/>

## 今後の行事予定について（1～2月）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1～2月の行事については以下のとおりとします。なお、今後学校の安全・安心を最優先に考えた上での変更もあります。何卒、ご理解・ご協力をお願いいたします。 ※ この内容はホームページにも掲載しています。

### 【1月】

1月29日（金） 体育集会再開（屋外で、全校の半分の学年で、間隔を十分にとって実施する。）

### 【2月】

2月 2日（火） 学校給食研究会（少人数の会議のため計画通り実施する。）

2月 9日（火） 放課後の陸上特別練習再開（1週間延期して3学期の練習を開始する。）

~~2月10日（水）~~ 授業参観（延期または中止。実施できる場合は、3月上旬に延期する。）

※ 2月中旬に臨時PTA本部役員会を開催して検討する。

2月12日（金） 入学説明会（保護者のみの参加。短時間で感染防止に配慮し実施する。）

2月15日（月）～校内なわとび大会（学年ごとに感染防止に配慮して実施する。）

2月19日（金） 子ども会新聞編集（少人数の会議のため計画通り実施する。）

2月26日（金） 6年生修学旅行（計画通り実施する。）

~~2月下旬～3月~~ 給食参観（飲食に関する行事であるため、今年度は中止する。）

- 方針**
- ・教職員と児童が中心で、外部の人との接触が少ない行事は予定通り実施する。
  - ・どうしても実施しなければ学校運営に支障をきたす会議等は、児童との接触を避け、感染防止に十分な配慮を行い実施する。
  - ・飲食をしている間は、本校の教職員・児童以外との接触を避ける。

## 新ホームページについて

本校の新ホームページについて、再度、ご案内します。

「詫間小学校」で検索すると、「三豊市立詫間小学校のホームページへようこそ。」とか「三豊市立詫間小学校のトップページ -schoolweb.ne.jp」というのが出てきます。Schoolwebのあるのが新しいホームページです。

## 本校の感染防止対策について

玄関と児童玄関付近の廊下に2か所、上履き用の靴裏除菌マットを設置いたしました。

普通の足拭きマットのように見えますが、この中には消毒液が入っていて、踏むとその液がしみ出てきます。児童の皆さんや、学校においでになった保護者の皆様は、上履き（上靴・スリッパ）を履いたままで、この上で靴の裏を除菌してください。

※ この内容はホームページにも掲載しています。



陸上の選手だった私

実は、私は、こう見えても（どう見えているのかは分かりませんが）中学2年生くらいまでは、かなり強い陸上の選手でした。もう40年以上も前の話です。100mだと、11秒台の後半くらいが中学2年生の時の最高タイムだったと思います。高瀬中学校の陸上部に所属していた私は、県下では、3~4番目くらいの選手だったのですが、学校では2番目の選手でした。同級生に、県大会で毎回優勝する友達がありましたので……。学校でも1番になりたい（つまり県でも1番）と、考えるのは、毎日、陸上の事ばかりでした。

中学2年生の時に、ジュニアオリンピックという全国大会が東京であり、私の学校から3名と、丸亀東中学校から3名が選ばれ、県選抜チームを結成しました。当時は、この2校が、いつも400mリレーで優勝を競い合っていました。

2校から3名ずつの6名が選手で、リレーには4名が出場しますので、2名が補欠となるわけです。チームを結成した時には、私は4人のリレーメンバーの中に入っていました。ですから、予選の県大会では、私が第3走者で出場し、優勝してジュニアオリンピックという全国大会に出場することになったのです。この大会は、国立競技場で行われ、ここで走ることが私の小さい頃からの夢でしたので、その夢がついに実現すると思っていたのです。

県の予選が8月に行われ、全国大会は11月に開催されました。その間に、実は、私にとっては、とんでもないことが起こっていたのです。それは、県大会の時に補欠となった選手が、めきめきと力を伸ばしてきたことでした。私は、県で1番である同級生を一生懸命追いかけていたつもりでしたが、補欠となった選手は、もっとすごい勢いで、その何倍もの勢いで、私を追いかけていたのです。そのことに、私は全く気が付きませんでした。

9月になると、今まで、練習では負けたことがなかった補欠の2人と、30mのスタートダッシュで、時々、同タイムになることがありました。10月になると、とうとう私が負けることの方が多くなりました。100mのタイムトライアルをしても、私は記録が伸び悩み、一方、補欠の選手だった2人は、2人で競い合いながら、私をすんなりと追い抜いていったのです。全国大会前の最後のタイムトライアルでは、私は6人中の6番目で、とうとう補欠となってしまったのです。

11月に東京へ行った時は、とにかくおもしろくありませんでした。練習はいっしょにしても、あこがれだったリレーの舞台に立つことはできません。応援するだけなのです。ところが、チームは、予選を通過し、準決勝も通過し、何と決勝まで進んでいったのです。喜びリレーメンバーとともに、一応は喜んで見せるのですが、私の顔はとても暗かったと思います。心の中では「決勝には残ってほしくないなあ。」とまで思っていたと、今でもはっきりと言えます。でも、口では「ここまできたら、ぜったいに入賞をめざせよ！」と、メンバーに声をかけました。県大会で補欠だった選手は、「まかせとけ、お前の分までがんばるからな！」と言ったと思います。4人の姿が見えなくなった後、私はくやしくて、一人涙を流しました。決勝では、香川県選抜チームは、残念ながら最下位だったのです。私は、なんと、心の中で、ほっとしたのです。

今思えば、自分はわがままで、心が小さい人間だったと思います。きっとリレーメンバーの時には、補欠の友達の気持ちなど、全く考えることもなかったのでしょう。立場が変わって、やっと気付かれたのです。でも、それを中学2年生なのに、受け入れることができなかったのです。

しかし、この出来事は、その後の私にとっては「いい経験」となったと断言できます。今、こうして、当時の苦い思い出を、皆さんに読んでいただいているわけですから……。

そして、まだ、終わったとは思っていません。40年以上前の夢をあきらめているわけではありません。練習をして、60歳を超えてからでも、全国大会（マスターズ陸上）に出場したいと思っています。ですが、今は、人と競う前に、けがと持病との戦いの方が先です。一昨年までは、それでも何とかまともに走ることができていたのですが……。リベンジです。勝手に終わらせたらいいけません。かなわなくてもいい、夢をもちましょと、子どもたちに言っているのですから……。

